

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(マツイ機販株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.9.5変更】

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	□	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	経営者が雇用、教育に関与し、定期的に面談を実施					5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7			
	□	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	就業規則に明記し経営者自ら常時監視する 【予定】相談窓口の設定					5.1 5.2 5.5		8.5 8.8							16.1			
	□	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	労働時間の見える化、紙日報からアプリ型勤務管理を導入し、週単位で見える化を実現								8.5 8.8									
	□	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	経営者との面談で倫理点検している 【予定】就業規則に明記				4.4			8.7 8.8		10.2 10.3								
	□	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	各社員が出席した安全衛生会時の資料を回覧、閲覧し意見交換を実施		3					8										
	□	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	年一度の企業検診時の問診等でチェックをし、該当者は産業医との面談		3															
	□	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	定年後に希望者には延長雇用を促進しており、働く意欲のある方に活躍いただいている					5.1 5.5		8.5		10.2 10.3								
	□	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	経験年数や職務に応じた各研修制度や、勉強会出席をしている			4	5.5			8	9									
	□	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	各種労働法改正を把握し適時対応していく					5.5		8.5		10.2 10.3								
	□	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	産業医との面談と特定保健指導の受診、ヘルスアップF@milyの活用		3					8										
環境	□	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	排気物収集専門業者に委託指導を受けている										11.6	12.4		14.1				
	□	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	社内70%LED化や床暖房を電力化し見える化により調整						7.3						13					
	□	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	昼休みや無人の部屋の電気や冷暖房を切り節電						7.2 7.3				12.4	13.3						
	□	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	有害化学物質を把握し、交換すべき物は適切に交換をし、適切な廃棄方法を取る		3.9			6.3					11.6	12.4						

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	□	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	事業活動、または就業内にもどのように悪影響を及ぼし、関わり合っているかを意識するよう心がける						6.6								15			
	□	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	交換をする前に一度、洗浄や修理を検討してみる									12.5	14.1							
	□	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ						6.4 6.6												
	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9		6	7			12	13.3	14	15					
	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】HP等で環境情報を公開し環境報告書を発行する									12.6								
	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	グリーン電力の使用などを検討課題						7.2					13						
	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	社有車をハイブリッドに指定している									12.2	13	14	15					
公正な事業慣行	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	社内規定で法規、閲覧可能														16	16.5		
	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	社内規定で法規、閲覧可能														16			
	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	社内規定で法規、閲覧可能							8.2 8.3	9									
	□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	管理者を専任し、適切に取り扱うよう経営者が点検															16		
	□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	自社取扱製品の原材料、サプライチェーンを把握している															16		
	□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	取引先との対話をつづけて、人権侵害防止等の取組み状況の確認を行っている				5			8		10	12	13	14	15	16	17		
□	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	【予定】「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している			3				8	9	10							17		

※「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法はこちら。<https://www.biz-partnership.jp/>

